

36 なは しゅり
むかしの那覇と首里のようす (2)

しゅり なは こうすびょうぶ りゅうきゅうおうこくじだい おうふ
首里那覇港凶屏風は、琉球王国時代の王府があった
首里、港町だった那覇のにぎわいを描いた絵図です。
屏風絵から当時の様子をしらべてみよう。



1. 下のア~カの場面は、屏風の中のどこに描かれているでしょうか。下の屏風絵の中に記号を書き込もう。



ア. みはりをしている乗組員



イ. おどっている人



ウ. かごと行列



エ. ハチマチをかぶった人



オ. 日がさをさした人



カ. 小船に乗った人

2. ア~カの中から、沖縄の人の絵を3つ選ぼう。

答え () () ()

3. 沖縄の人とそうでない人の絵はどこがちがう？

()

わしによく似た人もおるのう

